

■ 概要

- 3号機原子炉格納容器（以下、PCV）の注水量は、注水停止試験中の6月19日より増加させており、その後上昇傾向だった水位を安定させるため7月6日に2.2m³/hから2.1m³/hへ減少させている。
- その後、8月上旬頃からPCV水位の緩やかな低下傾向を確認している。
- 現在、3号機PCV水位は、PCV新設温度計/水位計(L1) から(L2)の間で維持することとしており、水位低下が継続することによってL1を下回らないよう注水量を増加し、PCV水位を調整する予定。（9月6日に2.1m³/hから2.5m³/hへ増加予定）
- なお、緩やかな低下傾向は示しているものの、PCV水位は底部から4.2m程度であり、十分な水位を維持している状況。また、2022年6～7月に実施した3号注水停止試験において、注水停止中にPCV新設温度計/水位計(L1) の高さまで水位が低下したものの、プラントパラメータに影響はなく、冷却状態に問題はなかったことを確認している。
- 原子炉の冷却に必要な注水量を維持しており、燃料デブリの冷却状態に問題はないものと考えているが、引き続き、原子炉圧力容器底部温度、原子炉格納容器温度、格納容器ガス管理システムダストモニタ等の関連パラメータを引き続き慎重に監視する。

PCV水位の変化

【注水変更実績】

注水停止 : 2022年6月14日～6月19日 (注水停止 : 2022年6月14日10:30
注水再開 : 2022年6月19日15:35 (注水量1.7m³/h))

注水量増加 : 2022年6月20日10:32 (0.5m³/h増加 : 注水量2.2m³/h)

注水量低下 : 2022年7月 6日10:32 (0.1m³/h低下 : 注水量2.1m³/h)

